



日本生活体験学習学会第 18 回研究大会・公開シンポジウム

コミュニティ・スクールにおける 生活体験の可能性

■ 2016 年 9 月 10 日（土） 14:00～16:30

■ 熊本大学教育学部 2-B 講義室 熊本市中央区黒髪 2-40-1

■ 参加費 500 円（資料代） どなたでも参加できます

【シンポジスト】

山崎 清男（大分大学）

井上 豊久（福岡教育大学）

千田 哲夫（熊本県大津町立護川小学校コミュニティ・スクール事務局長）

【コーディネーター】

古賀 倫嗣（熊本大学）・長尾 秀吉（別府大学）

◆コミュニティ・スクールは地域住民・保護者・学校が連携して学校運営を行うための組織です。その連携は、保護者の雇用環境の変化、人口減少、子どもの貧困などの社会問題、さらに、アクティブラーニング、ICT、外国語教育などの教育環境を取り巻く状況など、複合的な問題状況に対応していくために連携が必要と考えられています。

◆今回は、コミュニティ・スクールにおいて生活体験の取り組みがどう位置づけられ、どのような効果を上げることが期待されているのか、教育政策と組織マネジメントの二つの視点から探ってみたいと思います。

お問い合わせ先:熊本大学教育学部・古賀倫嗣 TEL&FAX:096-342-2558

E-mail:noritugu@educ.kumamoto-u.ac.jp